


























患者様バスシート      パス名 人工股関節置換術      患者氏名      担当医師      担当看護師

日付	手術1日前	手術当日	手術後	手術1日後	手術2日後	手術3日後	手術4~6日後	手術1~2週間後	手術3~4週間後
食事	◆夕食まで食べていいです ◆水分は麻酔科医師の診察のあと指示になります	朝・昼は欠食です 	医師の許可があれば手術後5時間後より水分・食事開始となります 						
安静度	特に制限はありません	点滴開始までは特に制限はありません	◆術後は翌朝までベッド上安静です ◆看護師が指示範囲でベッドを上げますが自力での起き上がりはできません 	◆ベッド上で座れます →	→	→	◆車椅子に乗れるようになったら、おしっこの管を抜きます ◆車椅子を使いトイレで排泄します(不安な場合ポータブルトイレを設置します) ◆慣れるまでは看護師が見守ります(1人で移乗いようにして下さい) 		
排泄	排便を促す座薬を挿肛します 排便の確認をします 		◆手術中におしっこの管が入ります ◆手術後はベッド上排泄です 	排便の時はベッド上で便器を使用します →	→	→			歩行器を使いトイレで排泄します
清潔	許可があればシャワー浴できます 			◆抜糸まで入浴ができないので体を拭きます ◆月曜と木曜に洗髪をします 	→	→		抜糸後は傷を確認して入浴できます(月・木曜日介助浴) 	医師の許可がでたら1人で入浴できます
薬剤	持参薬の確認をします 抗凝固薬など中止薬の指示があります 		希望時痛み止め(内服・座薬)を使います 	希望時痛み止め(内服・座薬)を使います					
注射		手術前から点滴を始め翌朝まで続けます 	抗生剤の点滴があります 	朝と夕に抗生剤の点滴があります →		点滴は終了です			
治療・処置			股関節に管が入ります	股関節の管が抜けます →	ガーゼ交換は必要時に医師が行います 			7日前後で抜糸します 	
検査	心電図・採血など必要な検査を行います 		術後レントゲン撮影があります	◆必要時採血・レントゲンがあります ◆前日夕方に看護師がお知らせに伺います →	→	→			
リハビリ		血栓予防の靴下を履いていただきます	◆血栓予防の機械を足に装着します ◆術後から足首の運動を積極的に行ってください 	訓練士がリハビリに病室まで伺います →	→	→	訓練士と車椅子移動の練習をします 	訓練室で起立・歩行訓練を開始します	
検温			◆術直後・1時間後・2時間後・4時間後に検温を行います ◆翌朝までモニターを装着します ◆術後足の運動・痺れを観察します 	◆1日4回検温します ◆足の運動・しびれの観察をします →	1日4回検温します →	1日2回検温します 	1日1回検温します		
説明・指導	◆看護師より手術前後の処置について説明があります ◆入院計画書の説明があります ◆麻酔科医師が診察に伺います 		手術のあと主治医より説明があります 					経過説明については随時いたしますが、必要ならいつでも申し出て下さい 	
その他	手術同意書・輸血同意書を提出していただきます	◆点滴前に排尿をすませ長着に着替えていただきます ◆入れ歯・指輪・ネックレス・時計等外して下さい ◆術後はHCR(観察室)に移室 		術後は脱臼予防のため足の間に外枕を挿入し固定します。足はできるだけ外向きを保持して下さい 			治療の状況などにより病室を移動して頂く場合があります		

注)上記内容は、現時点で考えられるものであり、今後、状態の変化等に応じて変わり得るものである。

国保水俣市立総合医療センター 院長 坂本不出夫